

- 問1 和歌山県を中心に広がり、ユネスコの世界遺産にも登録されている、古くからの信仰の場とそれをつなぐ道の総称を何という？
- 問2 紀伊山地のような山間部において、年間を通して降水量が多い気候を何という？
- 問3 紀伊山地の神社仏閣や信仰の道が登録されている、人類全体で共有し守るべき価値ある遺産を何という？
- 問4 大阪府にある、空の玄関口として整備されている国際空港を何という？
- 問5 周囲の地殻変動によって土地が沈み込み、その影響でできた非常に歴史の古い湖を何という？
- 問6 琵琶湖から流れ出し、大阪平野を流れて大阪湾に注ぐ、近畿地方の重要な水源となっている川を何という？
- 問7 滋賀県の中央部にあり、日本で最も面積が広い湖を何という？
- 問8 兵庫県の伝統産業として知られ、主に西脇市周辺で作られている綿織物を何という？
- 問9 三重県の北部に広がり、四日市市を中心に石油化学コンビナートが形成されている工業地帯を何という？
- 問10 琵琶湖から流れ出て、京都府や大阪府の重要な水資源となっている川を何という？
- 問11 淀川の源流であり、近畿地方の生活や工業に欠かせない、日本最大の湖を何という？
- 問12 大阪などの大都市で働く人が住み、昼間は中心部へ通勤・通学する住宅地が集まる地域を何という？
- 問13 兵庫県南部に位置する国際的な貿易港で、阪神工業地帯の発展を支えた港を何という？
- 問14 平地が少なく生活環境が厳しい山間部などで、住民が減少し、社会機能が維持しにくくなる現象を何という？
- 問15 奈良盆地のように、海から離れているために夏と冬、昼と夜の気温差が大きい気候を何という？
- 問16 三重県の志摩半島周辺に見られる、出入りが激しい海岸線を何という？
- 問17 三重県の伊勢平野にあり、古くから多くの参拝客を集めている神社を何という？
- 問18 古くから淀川を利用して、京都と大阪の間で物資を船で運搬した交通網のことを何という？
- 問19 和歌山県の面積の大部分を占め、急峻な地形が特徴の山地を何という？
- 問20 兵庫県の北側に面しており、冬にシベリアからの季節風の影響で雪が多く降る海を何という？
- 問21 和歌山県で、温暖な気候を生かして段々畑で生産される、日本有数の生産量を誇る果実を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 紀伊山地の霊場と参詣道	「紀伊山地の霊場と参詣道」は、吉野・大峯、熊野三山、高野山の3つの霊場と、そこに至る参詣道から構成されます。自然と信仰が一体化した文化的景観が評価され、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問2	答え 多雨	「多雨」とは、年間降水量が非常に多い気候の状態を指します。紀伊山地は険しい地形とこの多雨な気候の影響で、古くからスギやヒノキなどの良質な木材を育てる「林業」が発達してきました。
問3	答え 世界遺産	「世界遺産」とは、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の条約に基づき、人類共通の財産として保存すべきだと認められた場所のことです。紀伊山地では、古い歴史を持つ寺院や神社、またそれらをつなぐ熊野古道といった参詣道が、宗教的・文化的な価値を認められて登録されました。
問4	答え 大阪国際空港	大阪国際空港は、通称「伊丹空港」とも呼ばれます。かつては国際線の中心でしたが、現在は主に国内線の拠点として利用されています。滑走路が住宅街に近いという特徴があるため、騒音対策などの環境への配慮が重視されてきました。
問5	答え 断層湖	「断層湖」とは、地殻の断層運動に伴って地盤が沈下したり、隆起したりしたことで形成された窪地に水が溜まってできた湖のことです。琵琶湖は数百万年以上前から存在する「古代湖」の一つであり、その形成には激しい断層活動が深く関わっています。
問6	答え 淀川	琵琶湖から流れ出す唯一の河川が淀川です。滋賀県から京都府、大阪府を通り、大阪湾へと注ぎます。古来より流域は豊かな穀倉地帯であり、現代では京阪神都市圏の数百万人に及ぶ人々の生活用水や工業用水を供給する「命の水」として非常に重要な役割を担っています。
問7	答え 琵琶湖	琵琶湖は日本最大の湖で、滋賀県の面積の約6分の1を占めています。湖の形が楽器の琵琶に似ていることから名付けられました。周囲の山々から多くの川が流れ込み、唯一の流出河川である淀川へとつながっています。
問8	答え 播州織	あらかじめ糸を染めてから織る「先染め」という技法が最大の特徴で、色鮮やかな模様や肌触りの良さが評価されています。かつてはハンカチやシャツの生地として全国的なシェアを誇っていました。
問9	答え 中京工業地帯	中京工業地帯は、愛知県を中心とし、三重県の北部までを含みます。四日市市は特に有名で、石油化学コンビナートが集積し、石油製品の生産拠点となっています。自動車産業の集積が非常に強く、日本の輸出を支える重要な地域として知られています。
問10	答え 淀川	琵琶湖から流れ出る瀬田川が、宇治川、桂川、木津川と合流して「淀川」となります。滋賀県から京都府を通り、大阪平野を抜けて大阪湾に注ぎます。流域には大都市が密集しているため、これらの住民にとって貴重な飲料水や生活用水を供給する重要な川となっています。
問11	答え 琵琶湖	「琵琶湖」は滋賀県にある日本最大の湖です。その広大な面積は、周辺の気候を穏やかに保つ働きもあります。琵琶湖から唯一流れ出る川が淀川であり、琵琶湖は近畿地方の人々の生活用水や工業用水、農業用水を供給する重要な水源として「近畿の水がめ」と呼ばれています。
問12	答え ベッドタウン	交通網の発達に伴い、都市郊外や周辺自治体に大規模な住宅団地が作られました。夜は家で眠り（ベッド）、日中は都市部へ働きに出るといった生活圏が定着したため、このように呼ばれるようになりました。
問13	答え 神戸港	六甲山の山地と海との狭い平地を活用して、大規模な港湾施設や工業地帯が整備されました。これにより鉄鋼業や造船業、機械工業が急速に発達し、日本の経済成長を支える中心地となりました。
問14	答え 過疎化	「過疎化」とは、人口の流出や減少により、地域の住民の生活水準や社会的機能が低下していく現象です。特に紀伊山地のような険しい山間部では、若い世代の流出が激しく、高齢者の割合が高まることで、集落の維持やインフラの管理が難しくなっています。
問15	答え 内陸性気候	海は温度が変化しにくいので、沿岸部は年間を通して気温が安定しますが、内陸部は陸地の影響を強く受けます。そのため、夏は酷暑で冬は寒さが厳しいという大きな気温の変化が特徴です。
問16	答え リアス海岸	リアス海岸は、入り江が深く複雑に入り組んでいるのが特徴です。この入り江は波が穏やかで、外海の影響を受けにくいので、真珠やカキ、魚類の養殖に適しています。日本国内では、三陸海岸や若狭湾などにも見られます。
問17	答え 伊勢神宮	伊勢神宮は、皇室の祖神である天照大御神をまつる「内宮」と、衣食住の神をまつる「外宮」などを中心とした神社の総称です。特に江戸時代には「お伊勢参り」が大ブームとなり、全国から庶民が訪れました。広大な森の中に社殿が建てられており、日本の伝統的な建築様式である「唯一神明造」で知られています。
問18	答え 水運	「水運」とは、河川や湖、海を船で通って人や物を運ぶ交通方法のことです。淀川は、京都と大阪を結ぶ主要な大動脈であり、上方（京都・大阪）の物産を運ぶための重要なルートとして、多くの高瀬舟などが往来しました。米や酒などの特産品がこの川を通して運ばれたことで、流域は経済的に大きく発展しました。
問19	答え 紀伊山地	和歌山県の面積の約8割を占めています。太平洋からの湿った風がこの山地にぶつかるため、年間降水量が非常に多く、豊かな森林と川を育てています。古くからの信仰の道としても知られています。
問20	答え 日本海	冬になると、大陸からの冷たい季節風が日本海の上で水蒸気を取り込み、山地にぶつかることで、北側の地域に多くの雪を降らせます。このため、北部の但馬地方などは非常に雪深い地域となります。
問21	答え みかん	特に日照時間が長い斜面を利用した段々畑での栽培が盛んです。果実が日光をしっかりと浴びることで、糖度が高く良質なみかんが育ちます。このため、日本でも屈指の産地として有名です。